

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	戦傷病者福祉事業		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度		担当課室	援護企画課		須田康幸	
会計区分	一般会計		施策名	IV-8-1 戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援護年金の支給、療養の給付等の援護を行う			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	戦傷病者福祉事業助成委託費の交付について (平成23年3月29日厚生労働省発社援0329第20号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	戦傷病者等に対して健康診査等を組織的に行い福祉の増進を図ること及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戦傷病者に対し、各都道府県の区域の実状に応じ健康診査・健康相談、生活更生相談及び法改正等講習会を組織的に行うこと及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	240	224	193	185	184
		補正予算					
		繰越し等					
	計	240	224	193	185	184	
	執行額	240	224	193			
執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業の目的である戦傷病者等の福祉の増進、労苦を後世代に伝えることによる成果については、定量的な把握、指標設定が困難。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①福祉事業参加者数		活動実績 (当初見込み) 人	6,248	4,809	3,169	2,345
	②しよけい館の入館者数			136,714	114,514	108,721	110,000
単位当たりコスト	①8,610(円/福祉事業参加者数) ②1,526(円/入館者数)		算出根拠	①H22執行額 27,286,000円/H22福祉事業参加者数 3,169人 ②H22執行額 165,951,000円/H22入館者数 108,721人			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	事務委託費	185	184	事業実績を踏まえた実施回数の見直しによる減			
計	185	184					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	—
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き必要経費を精査し、適切に戦傷病者福祉事業を実施していくこととする。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	福祉事業における健康診査等の実績を反映の上、予算要求に反映させること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
福祉事業について、事業実績を踏まえて実施回数を見直した。(△2.7百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

戦傷病者福祉事業

厚生労働省

193百万円

戦傷病者等に対して健康診査等を組織的に行い福祉の増進を図る。また、戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に継承する。



A.(財)日本傷痍軍人会

193百万円

戦傷病者に対し、各都道府県の区域の実状に応じ健康診査・健康相談、生活更正相談及び法改正等講習会を組織的に行うことにより、戦傷病者の福祉の増進を図ること及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする施設「しょうけい館」の運営を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)日本傷痍軍人会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	しょうけい館の運営に必要な、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、借料及び損料等に係る経費	94			
人件費	しょうけい館の運営に係る職員給与	43			
事業費	しょうけい館の展示事業に必要な文献資料等購入費、証言資料収集費、資料保存管理費等に係る経費	29			
事務費	戦傷病者に対する健康診査等に係る消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	12			
謝金	戦傷病者に対する健康診査等に係る医師謝金等	11			
旅費	戦傷病者に対する健康診査等に係る医師等の旅費	4			
計		193	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.(財)日本傷痍軍人会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本傷痍軍人会	戦傷病者に対し、各都道府県の区域の実状に応じ健康診査・健康相談、生活更正相談及び法改正等講習会を組織的に行うことにより、戦傷病者の福祉の増進を図ること及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする施設「しょうけい館」の運営を行う。	193		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					